

令和5年度 まちづくりトーク 主な意見

開催日:10月19日(木)

会場:粟屋コミュニティセンター

参加者数:15人

| 参加者の発言 | 市の発言 | 備考 |
|---|---|--|
| 知り合いが、骨折して手術をした。術後、三次中央病院ではリハビリができないことから、市外の病院でリハビリをした。建替え後の三次中央病院では、リハビリが充実するのをお聞きしたい。 | 市立三次中央病院は二次医療機関として、高度急性期病院として位置付けられている。まずは、地域のかかりつけ医で診察を受けていただき、必要であれば紹介状で市立三次中央病院を受診される状況である。医療の役割分担をする中で、市民の皆さんにもご協力いただいている。市立三次中央病院のリハビリについては、今年度より土曜日のリハビリ実施を始めたところであり、患者さんにとって必要なリハビリを行っている。建替え後も引き続きリハビリ体制の維持に取り組む計画である。 | |
| 旧三江線が廃止され代替バスが走っている。国道54号までは、どこでも乗り降りができることから、非常に便利である。しかし、バス停留所の待合が3か所(粟屋、馬行谷、長谷)整備されていない。新聞で、旧三江線の交付金が残っているという内容の記事があった。高齢者は天候が悪いと困る。待合所を整備してほしい。 | ・バス停留所の待合所の件については、バス事業者や道路管理者との協議が必要となる。検討させていただきたい。 ・旧三江線の交付金について、代替バスも10年間の経費は、本市に交付されている。しかし、10年後の予算措置については、決まっていない。当時はJRが国に届けることによって、廃止が確定していたが、今は届出制が変更になっている。従って、その10年経った後の地域公共交通のいろいろな経費は、国が代わりに一部補助をするような制度も、検討されている。国において財源を出してもらえるように提案活動を今後もしていきたい。 | 【住民自治組織へ回答】式敷三次線の長谷、馬行谷及び粟屋停留所への待合所(屋根付き)の設置について、現状の県道112号線路上では建設用地が不十分であり、ただちに設置することは困難です。また、建設用地が確保できた場合であっても、バスの利用実態を踏まえて判断していきたいと考えています。 |
| 大雨の際、県道三次江津線沿線が冠水する。丸大ハムの下流にトンネルがある。その下の江の川と神之瀬川の合流部が洗堀により県道が崩落する危険性が高まっている。いつ崩れてもおかしくない状態である。県や国の所管であるが、早急に対応してほしい。 | 県道三次江津線沿線の洗堀のため、出水期は不安な日々を過ごされていると推察する。状況を確認して、今後の事業計画があるかなど確認する。 | 【住民自治組織へ回答】県道管理者である広島県北部建設事務所(維持課)に現地で見学内容を伝えました。 |
| フレスポ三次プラザ前にバス停を設けてほしい。高齢者にとって非常に便利が良くなる。 | フレスポ三次プラザ前のバス停については、現在、工事中のため一時的に使用できない状況があるかもしれない。11月中旬にオープン予定なので、バス停についても確認させていただきたい。 | 【住民自治組織へ回答】式敷三次線は、安芸高田市が運行主体となっています。停留所の追加などの手続きは安芸高田市にお願いすることになりますので、地元からの要望があったことを安芸高田市の担当へ申し伝えます。 |
| 馬行谷地区では、携帯電話が圏外になる。3つの会社全てが圏外になるので、解消してほしい。過去も同様の質問をしており、民間企業に要望していると回答された。進捗を教えてください。 | 昨年、携帯電話の不感地域について、地域から要望書をいただいた。継続して総務省の補助金の活用をめざし、携帯電話各社への参画を募っているが、携帯電話各社からの参画の希望はなかった。国に要望しても、事業者がいない状況である。国は、デジタル田園都市国家構想という、デジタルを活用して、便利で豊かな暮らしを実現するという構想に向け取り組んでおり、引き続き国に対しても要望していく。 | |
| 地籍調査だが、馬行谷地区の半分は完了しているので、残りの半分も山の境界がわかる方がおられるうちに実施してほしい。 | 地籍調査は、三次全体で70%程度の進捗率である。旧三次では山林部がまだ終わっていない。毎年、2億円程度の予算という県内でもトップクラスの事業費で行っている。今の制度では、一筆ずつ調査し、図面化し法務局へ入れる手順で行っており、境目がわからなくなった山の調査などは、非常に手間取っているのが現状である。山林部の地籍調査では、事業がある箇所から行って、調査には非常に時間がかかることをご理解いただきたい。 | |

令和5年度 まちづくりトーク 主な意見

開催日:10月19日(木)

会場:粟屋コミュニティセンター

参加者数:15人

| 参加者の発言 | 市の発言 | 備考 |
|--|---|----|
| <p>地域の活動拠点施設である粟屋コミュニティセンターだが、昭和56年築で、すでに42年経過している。耐震工事が終わっている建物だと思うが、古くなっていることから、誰もが利用するには難しい。コミュニティセンターの行事では、高齢者の方の参加が多い。2階を利用するにも、踊り場で休憩しないと上がられない方がいる。そのため、踊り場に丸椅子を置いている。また、人工肛門の方は、オストメイト対応のトイレがないため、安心してコミュニティセンターを利用することができない。コミュニティセンターは、誰もが集まることができる地域の活動拠点施設であるという使命を果たされていくべきである。</p> | <p>コミュニティセンターの機能は地域の重要な役割を果たしている。計画的に改修・整備を進めている。市内では、粟屋地区と三良坂地区のコミュニティセンターが古くなっており、三良坂コミュニティセンターについては改修を進めている。計画的に整備を進めている状況である。粟屋地区のコミュニティセンターの在り方について地元の皆さんと意見交換を行い検討していきたい。</p> | |
| <p>本市には、働く場所がない。そのため、若い人が帰ってこない。また、高齢化も進んでいる。三次は高速道路が交わる良い立地であり、企業誘致をしてほしい。 ・三良坂地区に、宮大工がおられ、神社などの建て替えや修繕で全国を回っている。すばらしい技術を持っておられるので、その技術をうまく活用してほしい。鉄筋の建物なら耐用年数は60年程度であるが、木を組み合わせて(伝統建築)建てたら200~300年程度の耐用年数である。地元企業をバックアップしてほしい。地元を活かしていただくと、活性化し賑やかになるのではないか。</p> | <p>宮大工の技術のすばらしさを含めて、若い人の働く場所について、求人と求職のマッチングがうまくいっていないことが現状としてある。三良坂地区に福島県に本社を置く企業を誘致することができ、10月から営業開始された。農業資材の卸業者であるが、高速道路がクロスし利便性が高いことを評価され、本市を選んでいただいた。今後、事業拡大を見込まれている。この企業では求人募集をされ、確保することができたと聞く。今後も、本市の拠点性や立地性をさらに企業へアプローチをして誘致につなげたい。本市において、新たな仕事を自らつくることも今後求められる。今、「女性の社会進出」や「女性が活躍する」といったことがキーワードになっている。本市もみよしまちづくりセンターに女性の起業家を後押しするアシスタlab.を設置して非常に人気である。ここ4年間で80の方がアントレヌとして起業家に認定され、女性が起業する実績も出ている。市として後押しをしていく中で、本市に住んで暮らして、自立して仕事もできるといったモデルをしっかりと作り、働く場所の確保についても、可能性を広げていきたい。</p> | |